

令和3年 10月 14日

令和3年度
「介護ロボット活用ミーティング」開催のご案内
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 背景・目的

少子高齢化の進行により、介護人材の不足が大きな課題となっております。

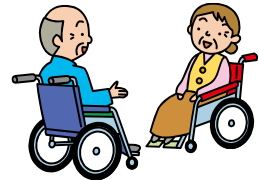
本年 7 月、厚生労働省が公表した介護職員の必要数では、令和5年度までに約22万人の人材が不足すると推計しており、総合的な介護人材確保対策の一環として、介護ロボット等の活用を掲げており、介護ロボットの導入支援や介護報酬による評価等を積極的に推進しているところであります。

こうした背景のもと、当協会では、この度、介護ロボット等(介護機器や福祉用具を含む。)の導入・活用に関する情報交換の場として、「介護ロボット活用ミーティング(※)」を開催することと致しました。

本ミーティングでは、介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を目的と致します。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。

(※)新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。



2. 開催予定

全5回、下記の日付とテーマで開催致します。

(開催日と主なテーマ) ※詳細は別紙(日程表)をご覧ください。

11月				
15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)
テクノエイド協会・会議室からオンライン配信いたします。				
13時～15時				
開催テーマ				
介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう①	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう②	グループホーム等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう	在宅高齢者の見守りに関する課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう	コロナ禍における課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう

1. 内容

- ①介護ロボット等に関する最新情報など(テクノエイド協会又は厚生労働省)
- ②介護施設等による発表(2か所を予定)
- ③(上記②に沿った企業又は有識者等を予定)
- ④フリートーク(情報や課題の共有)

別紙参照

2. 主な参加者

介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等

- 特別養護老人ホーム ○介護老人保健施設 ○有料老人ホーム ○グループホーム
- 軽費老人ホーム ○養護老人ホーム ○居宅介護サービス ○行政 等

3. 定員

30名~40名程度(先着順)

※定員となりしだい、締め切らせていただきます。



4. 開催方法

ズームミーティングを活用したオンライン開催とさせていただきます。



5. 参加者申込み(無料・先着順)

参加申込みは、令和3年11月10日(水)17時までとさせていただきます。

当協会ホームページから行ってください。

申し込み先(協会HP):

http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39_sankaorder



注)本ミーティングは、オンラインによるリアルタイム配信のみとなります。別の日には視聴できません。

3. 本件に関する問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 担当:谷田、松本、根石、五島
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
E-mail robocare@techno-aids.or.jp

令和3年度 介護ロボット活用ミーティング 日程表

～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 開催日	11月				
	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)
2. 時間	13:00～15:00				
3. 場所	テクノエイド協会・会議室からオンライン配信いたします。 (※)新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。				
4. 主なテーマ	①	②	③	④	⑤
	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう～その①～	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう～その②～	グループホーム等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう	在宅高齢者の見守りに関する課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう	コロナ禍における課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう
5. 募集人数	30名～40名(先着順)				
6. 参加対象者	介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等				
7. 内容					
セッション1 (13:00～14:10)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう				
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分)				
	公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省				
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分)				
	暮らしの継続 ～床走行リフトとパロ、眠りscanの利用～ 特別養護老人ホームくぬぎ苑 川畑拓郎 氏	福祉用具を導入することで得られる効果と課題 特別養護老人ホーム 悠悠タウン江波 池田英寛 氏 他	ICTを活用したその人らしさを大切にケアの実践 ～ChatterBoxを介護現場の日常に～ グループホーム デイサービスセンターゆめ長居公園 東出悠子 氏	睡眠状態のモニタリングと効果 そんぼの家 苗穂(特定施設入居者生活介護) 青木聖治 氏	コロナ禍における密を避ける介護 ～移乗リフトやセンサーロボットの活用～ 特別養護老人ホーム 六甲の館 溝田弘美 氏
	介護ロボットを用いた見守りと業務の効率化 特別養護老人ホームアガバホーム 草川春美 氏 他	リスクの可視化による負担減と介護意識の向上 特別養護老人ホーム クラリス 友野治真 氏	IT、IOT機器の利用「オンデマンド介護」 ～AiSleepの利用～ 有料老人ホーム リゾートビラ雨晴 和田美津子 氏	コロナ禍における終末期看取りの実践 サービス付き高齢者向け住宅 リハ・ハウス来夢 矢代虎太郎 氏	コロナ禍における介護の工夫 ～福祉用具・介護ロボットの活用状況～ 特別養護老人ホーム新とみ 関口ゆかり 氏
	③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分)				
見守り支援機器と他の機器を連携させる(仮称) パラマウントベッド(株) 岩田 剛 氏	移乗支援の基本的な考え方(仮称) 福祉技術研究所 市川 洵 氏	グループホームにおける 一歩進んだ見守りシステムの活用事例(仮称) エコナビスタ(株) 渡邊君人 氏	在宅での福祉用具利用について(仮称) 武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センター 堀家京子 氏	コロナ禍における福祉用具の活用・研究(仮称) 安全なケア研究所 上田喜敏 氏	
個人ワーク (14:10～14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理				
セッション2 (14:15～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう				

※新型コロナを予防する観点から、オンライン開催をさせていただきます。詳しくは協会のHPを参照してください。

※各会場の定員は、30名～40名(先着順)とさせていただきます。(定員となりしだい締切させていただきます。)